

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	文化財保護事業			
予算科目	10 款 5 項 1 目			
総合計画での位置付け	教育・文化・スポレクの振興～うるおいと生きがいのひとづくり～ 文化の振興			
所管課情報	担当課:	社会教育課	電話番号(内線):	737
記入者情報	所属長:	武智 亨	担当責任者:	田中 敬文
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】 平成 18 年度 【開始年度】 設定なし			
事業の対象				
根拠法令等	伊予市文化財保護条例			
事業の目的	文化財は、我が国の歴史・文化等の正しい理解のため欠くことのできないものであり、将来の文化の向上発展の基礎をなすものである。国民の共有財産である文化財を後世につなげていくため、適切に保存するとともに、可能な限り公開するなど、文化的活用を努める。			
事業の内容	文化財保護法等の規定に基づく手続きや所有者等に対する指導助言等資料の文化的活用を推進するため、収集保存、調査研究、企画展示・学習支援を実施する。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	8,085	4,325	1,672	3,716
	人件費	4,148	4,295	2,147	4,295
	合計	0	8,620	3,819	8,011
人件費 内訳	人工数	0.51	0.54	0.27	0.54
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	4,148	4,295	2,147	4,295
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	13	20	27	41
	一般財源	12,220	8,600	3,792	7,970

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
文化財保護審議会	開催数	5	3	1	2
文化財企画展	来場者数	12816	5000	0	4016
市民向け文化財関連行事	参加者数	283	250	141	227
文化財案内板設置(更新)	箇所	2	2	0	2

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
		9,293	6,200	6,200	6,200	

成果指標				
成果指標	文化財企画展の来場者数、文化財関連行事の参加者数			
指標設定の考え方	市民の文化財保護に関する興味・関心を高める場を提供することができたか。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	10250	5250	6000	0
実績	13099	4243	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	5	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	専門的な分野であり、専門的な知識・経験を有する職員が従事する必要がある、また事務職員についても知識・経験、文化財への関心が高い者がサポートする体制を整える必要があると思われる。今後、そういった職員の確保を計画的に考えていく必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	新館での企画展示等で活用できるよう専門的な知識や経験を持った職員の配置が必要である。また、埋蔵文化財包蔵地での開発に対する指導や周知が大切である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題